

【きら】



ダンスがお休みの午後、きらの庭でシャボン遊びをしました。飛んでいくシャボン玉に大盛り上がり！



土日開所で糸魚川のおまんた祭りに行きました。消防体験、ドキドキです！

柏崎まで、どん GALA 祭りを見に行きました。よさこいを見ながら食べるご当地グルメはとびきり美味しかったです！

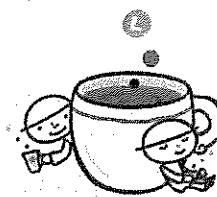


ドライブで妙高へ。赤倉温泉の足湯に漬かりました。

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2018年9月

9月に入り朝夕は過ごしやすくなってきましたね！今年の夏は例年に比べ厳しい暑さ続きでしたが、皆様はどのように過ごされたのでしょうか？季節は夏から秋へ…「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と楽しいことが盛りだくさん。それでは9月のりとるらいふ通信をお届けします♪



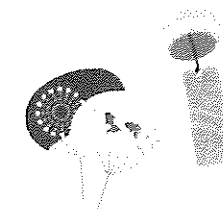
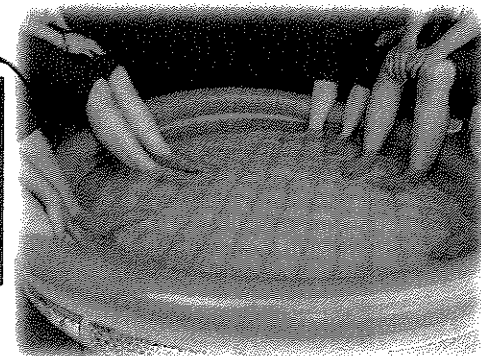
夏の思い出フォトアルバム ♪



今回の9月号では、りとるらいふの夏の思い出をご紹介します。児童部は夏休み、成人部もイベント盛りだくさんでそれぞれが夏を満喫しました！それでは「夏のフォトアルバム」ご覧ください♪

【とも】

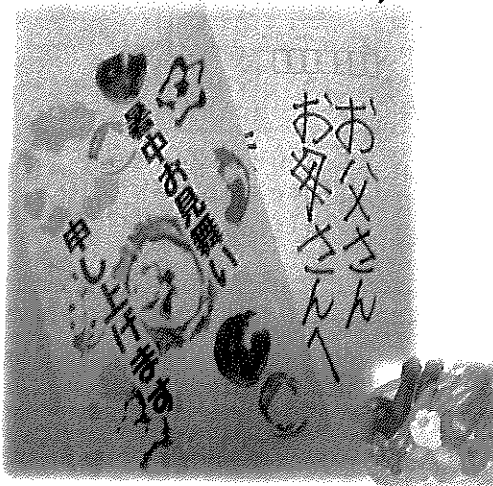
“真夏の暑さを、この足水でなんとか乗り越えることができました。涼しくなったらもう入れないのが残念！”



“カフェ気分を味わいたくて、フラベチーノを作りました。ス〇バに行かなくても、手作りでこれだけであれば十分満足！といえる出来栄でした。”



“いつもお世話になっている家族へ、暑中見舞いを書きました。夏野菜のスタンプを押して、宛名は丁寧に手書きをしました。ご家族からはとても喜んでいただきました。”



“春に植えたハーブが、夏の暑さで大きく育ってくれました。お茶の時間にハーブティーを作ったら、砂糖を入れなくてもとっても甘くておいしかったです。”

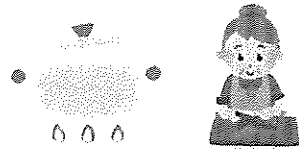


リレーエッセイ

職員自身もいつ自分に順番が回ってくるかが分からない、ドキドキのコーナー。職員も知らない内側をのぞけると、職員間でひそかな人気です♪

「私の尊敬する人」 (石塚職員からのテーマ)

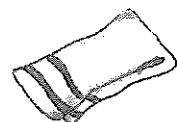
尊敬する人、、、沢山います。その中でも、今回は私の祖母について紹介しようと思います。新潟県村上市に生まれた祖母は、とても料理上手。毎年5月になると、ヨモギともち米を混ぜて笹団子を作ってくれます。柔らかくてもっちりとした食感が手作りならではの美味しさです。お正月には「いすし」という昔ながらのお寿司を作ってくれます。その他にも郷土料理の「のっぺ」や、地元の海で採れた魚料理など、とても手の込んだごちそうを大鍋で作っています。健康面に気を配り、味は薄味。だけど美味しい。そんな料理を、家族や友人に振る舞うために毎日台所に立つ祖母の姿には尊敬の一言です。祖母を見習って、私も料理上手になりたい！



きら 村山真裕子

次のテーマ
「夏といえば…」

「肌身離さず持っているもの」 (祖山職員からのテーマ)



いつも肌身離さず持っているもの…。このテーマを頂いてからずっと考えていましたが、なかなかネタとして話が広がる物が思い浮かばなかったため、いつも肌身離さず持っていた物の話をさせていただきます。記憶をさかのぼる事 30 数年前、保育園に通っていた頃だと思っています。当時、私は【ねんね】と名づけられたボロボロのタオルケットが無いと眠れない子供でした。それと家では名前は付けていなかったと思いますがゴリラのぬいぐるみをいつも持っていた事を思い出しました。この2つの肌身離さず持っていた物の現在の所在は分かりませんが、多分もうこの世には…。今回このテーマを頂きそんな時もあったなと昔を振り返るいい機会になりました。



ぴあん 久保田剛史

次のテーマ
「最近買って良かったもの」

【ららん】

かき氷を作りました♪冷たくて頭がキーン!



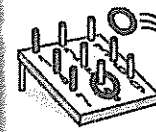
スイカをたくさん食べました!



縁日では輪投げゲームをしました♪大きい数字を狙って、手作りの輪っかを投げました!



スイカ割り大会をしました♪力を込めて...「えい!」

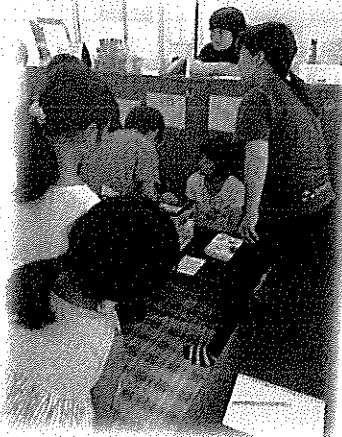


【ここ】

砂防公園に行って川遊びをしました!水が冷たくてとっても気持ちよかったです。



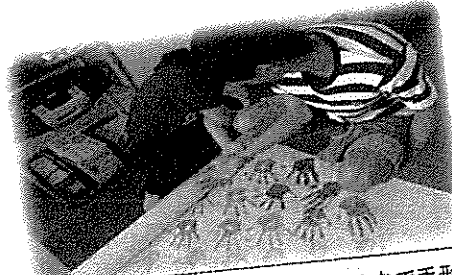
しゃぼん玉クラブの夏祭りに参加しました。ここからも水中的当てのゲームを出して楽しみました。



レルヒの森にカフェ OPEN! みんなで協力してお客様にかき氷を振る舞いました。



レルヒの森にこの壁飾りを作るため、みんなで手形取りをしました。総勢152名!完成品はレルヒの森1階ホールに飾らせて頂いています。



「5年目を迎えて」

障害福祉事業部りとるらいふ 生活介護事業所とも主任 笹川義智

この10月が来ると、私が社会福祉法人みんなでききに入職して5年目を迎えることになる。恥ずかしながら自分のこれまでの職歴では一番長い職場だ。何年か前からは10月を迎えると、自分にとっての新しい年度が始まるような気がして、自然と背筋が伸びるようになった。続けること、の重要性や尊さを自分はもっと学ばなければいけないと思うから、新しい1年を迎える10月は節目になっているのだと思う。

社会人1年目は一般企業で経験した。思い返せば、本当に常識がなく社会人スキルも身につけていない、どうしようもない新人だった。学生から社会人になったという点でその差はとて大きく、それがそのまま仕事に対する辛さ、苦しさに比例していた。だから、今も感じるけど社会人1年目が一番大変だった。

当時は上司や先輩の顔を思い浮かべるだけで気が滅入り、仕事へ行くのが嫌になることが多かった。叱られることばかりで、隠語で説教部屋と言われていた資料室へ何度も上司に呼び出された。怒鳴られることもしょっちゅうで、人の声はこんなにも質感のあるものなんだということ初めて体験した。徹夜も当たり前だったし、それがなくても深夜1時2時までの残業は普通だった。ひとつ会社への不満を言えば、それが同僚の口を通して全く知らない県外の別の支社の社員の噂のネタになる怖さも学んだ。

結局自分の力が足らず、3年で自主退職を選択することとなった。辛いこと、苦しいことばかりに感じてしまうが、それでも私はそこで育てていただいたのだと思う。何の役にも立たず、どこの馬の骨かも分からないこんな自分に、仕事を与え、それを行うための方法やマナーを身につけてくれた。社会人1年目に経験したこと、学んだことは、今もそのまま自分の仕事に対する姿勢になっている。ひとつひとつ、自分が苦い経験をしたからこそ忘れられないし、そこには育てようとしてくださった先輩や上司がいたのだ。

もともと大学は社会福祉学部だったのと、現場の仕事がしたいという思いが強かったため、その後は上越市内の福祉施設へ入職をした。そこでは、ずっと怒っていたように思う。社会人1年目で自分が学んできたこと、身につけたことが、その職場ではまったく実践されていないように感じてしまったから。自分が正しいと思っていた。自分が正しいと思ってしまうと、いくらでも相手を否定できるし、思い通りにいかないことはすべて怒りに置き換えられる。だから私はずっと怒っていたのだと思う。でも本当に正しいと思ったらまだそこで仕事を続けていたと思うし、続けることで初めて辿りつくもの、見えるもの、価値が生まれるものもあったと思う。自分が絶対に正しいと思い込んでしまった時点でそれは誤りなんだと、今はなんとなく思ったりもする。

正しいということに、どれだけ価値があるんだろうと思うこともある。この頃は、最初の会社を辞めたあとで自分にも周囲にも一番厳しくしていた時期だったように感じる。がんばらなければ自分の価値が見えなくなる、なんて陶酔したことを真面目に考えて

たりしたからだ。今は3つ目の職場でお世話になり、なんだかんだでもうすぐ5年目を迎える。こうして自分の社会人経験を振り返ってみると、正直失敗ばかりであきれてしまう。ときに暴走していたり、どの場面を切り取ってもまともだと自信を持って言い切れる瞬間がない。他の大人も皆そうなのだろうか。

今回、このコラムを書かせていただく機会をいただいとて悩んでしまった。テーマは自由ということで、何を書いてもいいと言われてたが、正直こんな自分がコラムなんて書けない。この文章を読まれる方のほとんどが自分より年上で、人生経験豊富な方たちばかりなわけで、そんな中で何を書いてもただのお目汚しにしかならない。テーマを変えて4回書き直したところで、自分のことについて書こうと思直した。自分のことだったらなんとかが書けるし、失敗ばかりの自分でもなんとかやってることを若い世代に読んでもらえれば、少しは喜んでもらえるのかもしれないと思った。

そうやって書きながらも、心と疑問に思ってしまう。自分のことは自分が一番よく分かってるなんて、本当だろうか。福祉の本を開くと自己覚知という言葉がよく書いてある。でも自分のことなんてぶっちゃけ全然分からない。分かっているつもりになっているだけであって、いつも他人から教えてもらうことの方が多い。そう、私のことは自分自身ではなく周囲の方がよっぽどよく分かってくれているのだ。つい先日も、笹川は夕方になると機嫌がよくなって話やすくなる、と言われた。ああ、そうだったんだなと思う。自分では当たり前だけどそんなこと少しも意識していない。いつも穏やかでやさしくて、ときにちょっと厳しい真面目な人、くらしい勢いで思い込んでいる程だから。自分の思い描いている自分と、周囲から見られている自分はやっぱり違う。でも、それがなんだか嬉しい。自分のことを他人から教えてもらうっていうのは、怖い部分もあるけど嬉しい気持ちにもなるんだと発見した。

こうやって自分のことを他人様に教えてもらいながら、失敗ばかりの自分にあきれながら、ときにいっちょまえの文句も言いつつ、なんだかんだで6年目、7年目も迎えられるといいなと思った。ちょっと綺麗にまとめすぎてしまったので、嘘くさく感じられてしまったらごめんなさい。

りとるらいふ感謝祭★

日時：2018年9月22日 土曜日 10:00~14:00 (予定)



今年も美味しい食べ物販売や楽しい催し物を考えています。多くの方のご来場をお待ちしています(´▽`) /お楽しみに!!